

病院のお仕事いろいろ

心疾患をもつ
患者さんの生活を
包括的にサポート



医療技術部
リハビリテーション部門
心リハ専従看護師・
心リハ上級指導士

石井 亜由美
(いしい あゆみ)

心筋梗塞や心不全を発症すると、心機能の低下や入院等の影響により運動能力・身体調節機能が低下します。そこで、社会復帰や再発予防のために行う治療の一つが、心臓リハビリテーション(心リハ)です。心リハでは、指導士の資格を持つ心リハ指導士によって、運動面だけではなく食事、服薬、体重管理など、日常生活全般をサポートする指導が行われます。

石井さんは以前、看護師として病棟で勤務する中で、「もっと心疾患について知識をつけたい」との意思を持ち、心リハ指導士の資格を取得しました。「心リハでは患者さんと1対1でリハビリを行います。一人ひとりに合った指導方法を考え、患者さんに丁寧に寄り添ってリハビリを進めていけることにやりがいを感じます。」と石井さんは言います。

徳大病院では、外来でも心リハを行っており、リハビリ時の患者さんの状態、会話等から、症状が悪くなっていないかを心リハ指導士がチェックします。心リハに関する院内での連携も盛ん

で、医師、理学療法士、看護師、薬剤師、管理栄養士、ソーシャルワーカー等の多職種が集まってカンファレンスを開き、多角的な視点から情報共有を行っています。また、徳大病院は心リハ指導士の資格取得のための研修施設にもなっており、様々な職種の医療従事者が本院で心リハを学んでいます。「たくさんの方に心リハに興味を持ってもらい、心リハを普及することで医療に貢献していきたいと思います。」



石井さんは日本心臓リハビリテーション学会のベストオブ心リハ指導士を受賞。これまでの活動が心リハに多大な貢献をもたらしたとして看護師として全国初の受賞である。

「自分ひとりの力ではなく、心リハチームのおかげです。」